

パネルディスカッション質疑概要

- オーストラリアでは、干ばつ問題解決のための、資金的準備は出来ているか。
 - ⇒ オーストラリア政府の財政は黒字であり、資金的な準備は出来ている。科学的な知見。情報に基づき、取水、水の所有に対する規制を強化したいと考えている。

- 日本では、気候変動に対する適応策について官民の連携・対話は進んでいるか。また、水資源に対する途上国支援に対する考え方について教えていただきたい。
 - ⇒ 気候変動の影響に対する適応策に関する官民の協議の場はある。また、現時点では水資源分野に関する途上国支援は、必ずしも十分ではないので、今後、積極的に取り組んでいく必要がある。

- オーストラリアにおける再生水利用・海水淡水化技術の導入に伴う制度変更への人々の反応について教えて頂きたい。
 - ⇒ 水利用に関する所管は州である。州都等の都市圏では、今後 5~10 年で淡水化、再生水の利用等、気候変動に影響を受けない水資源開発が重要になると考えている。

- 財政・エネルギー資源が豊富で、人口の少ない中東等では、淡水化技術の適用が有効と考えられるが、そうでない途上国では、日本のどのような技術が適用可能と考えられるか。また、水の効率的利用についてどのような技術が考えられるか。
 - ⇒ 幅広い技術が求められている。インフラ整備だけでなく、節水型農業、地域内で入手可能なエネルギーの利用、水の再利用等、環境に負荷を与えない技術を組み合わせることが重要である。日本は適応、緩和の両面で技術を有する。
 - ⇒ 情報の入手・管理が重要である。例えば、大規模な灌漑では、表流水と地下水の両方を管理できるモデルの構築が必要となる。
 - ⇒ 現時点では、海水淡水化技術は高コストのため、豊かな国にしか適用できない。将来的にはコスト削減（10 年前の淡水化コストは 8 US\$/m³、現在は 80¢~1 US\$/m³）できるものと考えられ、エネルギーが確保できる地域では、適用可能と考えられる。
 - ⇒ 日本の工業出荷額当たりの水使用量は世界最小であり、効率的な水利用技術で貢献できる部分が多いと考えられる。

- 気候変動に伴う影響に対して、水事業者連携の活用や水事業者と政策決定者間の連携の仕組みづくりが重要である。また、これらに対するメディアの関わり方はどうあるべきか。
 - ⇒ 水供給サイドでは、インフラの活用等、様々な対応を行っているが、水需要サイド（水

利用者) の調整については、今後、新たな仕組みを考えていく必要がある。

- ⇒ これまで、社会が水のコストを十分に認識していなかったと考えられる。
- ⇒ 気候変動に伴う水への影響については、**business as usual** では乗り越えられないと考えており、そのような姿勢でメディアも対応する必要がある

➤ 途上国での気候変動適応策の考え方についてお教え願いたい。また、メディアは、課題を先取りした形で社会を啓発することは出来ないか。

- ⇒ 自然を味方につけることが理想であるが、大都市では必ずしも理想どおりにはいかない。今後は分散型の社会づくりを目標とすることが重要である。
- ⇒ 今後 10 年間に、新たな人間と水の間を構築することが必要である。これからは水と衛生にもお金を支払うことへの意識改革が必要である。気候変動の影響に対する技術的解決策は、技術者・研究者によって創出されるが、それ以上に、政治的意志が重要である。
- ⇒ 今後は、先進国、途上国を問わず、順応的な適応が必要になる。そのための適応メニューは、あらかじめ検討しておく必要がある。
- ⇒ 社会のあり方を変えるためには、政治的意志がもっとも重要である。
- ⇒ メディアの対応として、ある出来事に対して反応する方法とテーマを決めて発信する方法がある。環境問題では後者が重要であり、社会に効果的に訴えるには、情報の質だけでなく、オピニオンリーダー（例えば、アル・ゴア元副大統領、元米大統領候補）の活用が必要である。

➤ 第 1 回アジア・太平洋水サミットに対して、どのようなことを期待するか？

- ⇒ 気候変動の影響は、大気、生物多様性、水の 3 つの面で顕在化するが、大気、生物多様性に比べ、水問題だけが取り残されてきた。サミットに向けて水問題を気候変動の影響における主要な課題としていくことが重要である。
- ⇒ 様々な水問題があるが、サミットの中で 1 つでも解決できればと考えている。
- ⇒ 世界の水問題解決に向けて寄与することを期待する。
- ⇒ 水問題解決には技術・ソフト対策、政治的意志、メディアの協力が必要である。お互いに問題、知識、技術を共有し、政治的な交流の場を持つことが必要であり、サミットは、その第一歩となる。
- ⇒ リーダーの啓発、水問題解決に向けたリーダーのコミット、リーダーが共通理解を持って問題解決にあたることが重要である。